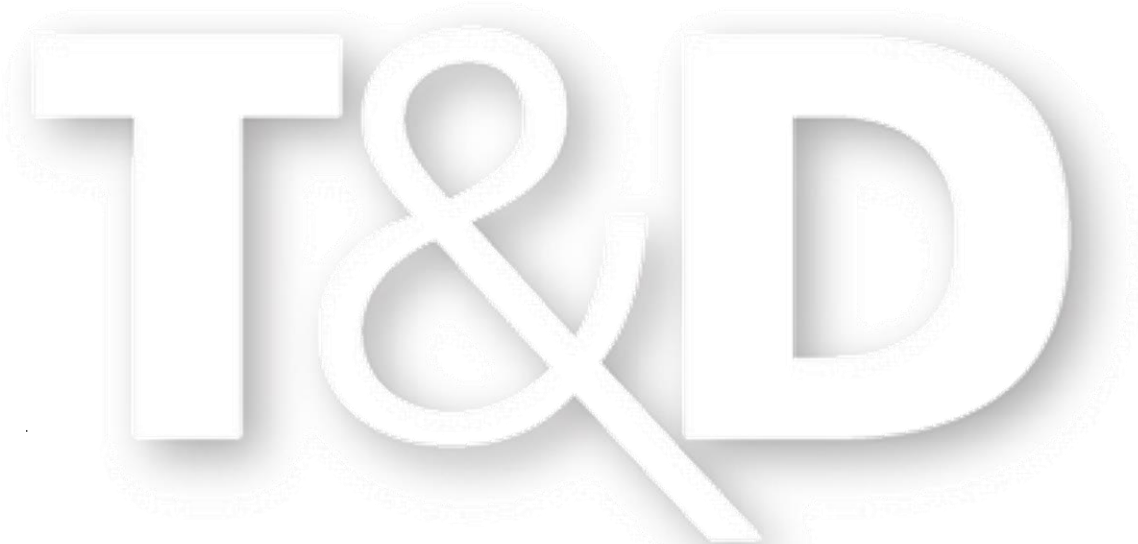




さあ、保険の新次元へ。

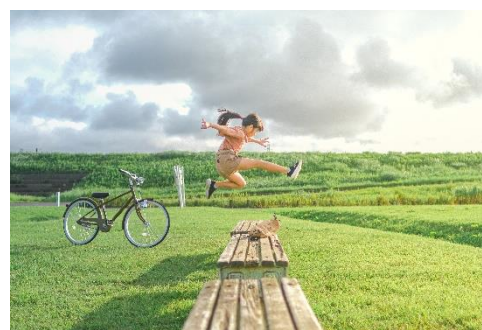
T&D 保険グループ

Try & Discover
20th
ANNIVERSARY

2025年3月期第2四半期決算のお知らせ

株式会社 T&Dホールディングス

2024年11月14日



写真は、「Try&Discoverフォトコンテスト2023 ～さあ、しあわせを重ねよう。～」の受賞作品(一部)です。

Copyright T&D Holdings, Inc. All Rights Reserved.

目次・グループストラクチャー

【決算のポイント】 P. 2

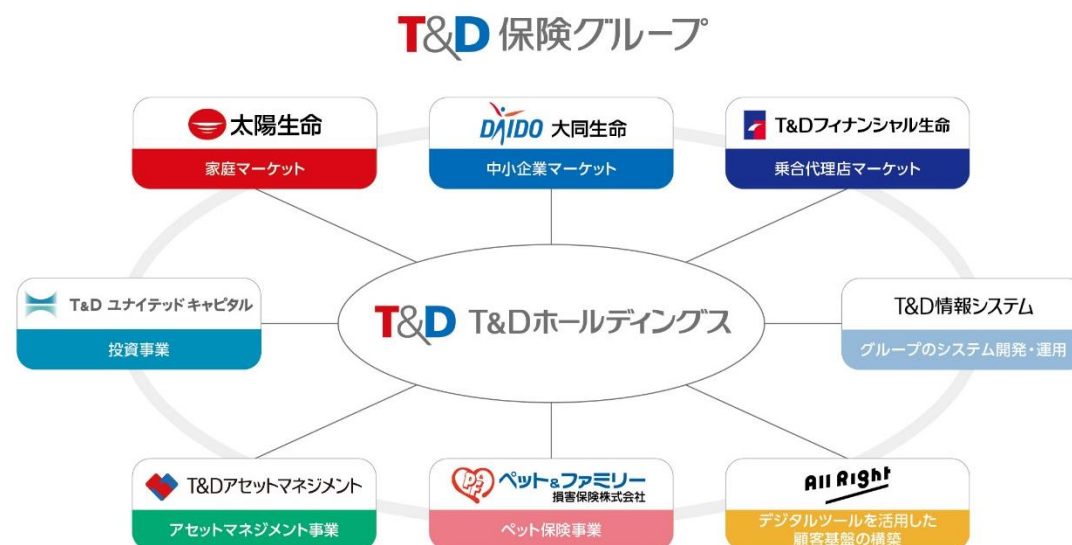
I. グループ概況 P. 3

II. 国内生命保険事業 P. 6

III. 事業ポートフォリオ多様化 P. 11

IV. 業績予想・株主還元 P. 13

V. 参考 P. 14



おかげさまで、T&Dホールディングスは
本年4月に設立20周年を迎えました。

＜本資料における用語の定義＞

【連結】 T & Dホールディングス連結
 【太陽】 太陽生命保険
 【TDF】 T & Dフィナンシャル生命保険
 【TDAM】 T & Dアセットマネジメント

【3社合算】 生命保険会社3社（太陽生命・大同生命・T & Dフィナンシャル生命）の単純合算
 【大同】 大同生命保険
 【TDUC】 T & Dユナイテッドキャピタル
 【P & F】 ペット&ファミリー損害保険

【決算のポイント】

- グループ修正利益は、国内生命保険会社における利息配当金等収入の増加等により前年同期から増加し、半期ベースで過去最高を更新。国内生命保険事業の契約業績は、新契約の販売好調により堅調に推移。
- 株主還元として1株あたり40円の間配当を実施。年間配当は、10期連続の増配となる1株あたり80円を予定。

	項目	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比	主な増減要因
グループ 連結	グループ修正利益	560億円	818 億円	+46.0%	国内生命保険会社における利息配当金等収入の増加等。
	親会社株主に帰属する 中間純利益	430億円	654 億円	+52.0%	
国内生命 保険事業	新契約年換算保険料	945億円	1,052 億円	+11.4%	対面・非対面を融合した営業活動およびお客さまの幅広い保障ニーズに丁寧にお応えしたトータルな保障の提案、一時払商品の販売増加等。
	保有契約年換算保険料	16,336億円 (24/3末)	16,663 億円 (24/9末)	+2.0% (前年度末比)	
	保険料等収入	11,163億円	13,584 億円	+21.7%	
	基礎利益	567億円	812 億円	+43.0%	利息配当金等収入の増加および為替ヘッジコストの減少等。
クローズド ブック事業	修正利益（連結）	149億円	161 億円	+8.5%	TDUCにおける投資先の運用収益増加等。
株主還元	中間配当実績	40.0円(1株あたり)		年間配当（予想） 【10期連続増配予定】	80.0円(1株あたり)

1. 収益関係

- グループ修正利益・親会社株主に帰属する中間純利益は、国内生命保険会社における利息配当金等収入の増加等により前年同期から増加。

■ グループ修正利益

(億円)

	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
グループ修正利益	560	818	+46.0%

■ 親会社株主に帰属する中間純利益

(億円)

	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
連結	430	654	+52.0%

【参考】グループ修正利益とは

- 当グループでは、A L M（Asset Liability Management）を実施し、金利リスクを含めた各リスクをコントロールして資産と負債を総合的に管理しています。
- 一方、親会社株主に帰属する当期純利益に対し、市場変動等により会計上生じる経済実態を伴わない損益※や負債内部留保の超過繰入（戻入）額を調整した「グループ修正利益」を、経営実態を表す指標としてK P Iに設定し、また、株主還元もグループ修正利益に基づいて行っています。

※調整の対象は、フォーティテュード社における一時的な評価性損益や市場価格調整（M V A）に関連する評価性の損益等。

2. MCEV・新契約価値

- Group MCEVは、新契約価値の積上げおよび国内金利上昇等により前年度末から増加。
- 今期に販売した保険契約（転換契約を含む）から将来生じる利益を現在価値に換算した新契約価値は、大同生命での新契約高が増加した一方、太陽生命での保険前提の変更等により、前年同期並み。

■ MCEV

(億円)

	24/3末	24/9末	前年度末比
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	38,844	39,196	+0.9%
生命保険事業のMCEV	39,832	40,084	+0.6%
うち太陽生命	11,718	11,444	△2.3%
うち大同生命	26,360	26,507	+0.6%
うちTDF生命	1,534	1,642	+7.0%
生命保険以外の事業に係る純資産	△ 988	△ 888	-

■ 新契約価値

(億円)

	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
3社合算	883	876	△ 0.8%
太陽生命	191	162	△ 14.9%
大同生命	650	673	+3.5%
TDF生命	41	40	△ 3.7%

※生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV（エンベディッド・バリュー）」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したもの。

※「生命保険以外の事業に係る純資産」には、フォーティテュード社における会計上の一時的な評価性損益等を含む。

3. 健全性指標等

- グループ連結のソルベンシー・マージン比率は、リスク性資産の削減による資産運用リスク相当額の減少等により前年度末から上昇。監督当局による早期是正措置の基準となる200%を上回っており、十分な健全性を維持。
- 当グループの内部管理モデルに基づき算出したグループ連結のESRは、前年度末から上昇。

■ ソルベンシー・マージン比率（SMR）

	24/3末	24/9末	前年度末差
連結	995.7%	1,023.0%	+ 27.3pt
太陽生命	716.2%	727.3%	+ 11.1pt
大同生命	1,193.5%	1,233.9%	+ 40.4pt
TDF生命	567.6%	612.2%	+ 44.6pt

■ ESR※

	24/3末 (見直し後)	24/9末	前年度末差
連結	239%	245%	+ 6pt

※ ESRは、経済価値ベースの健全性指標として当グループが導入している指標で、当グループの内部管理モデルに基づき算出。

※ 今年度より、2025年度導入予定の経済価値ベース資本規制を踏まえ内部管理モデルの見直しを実施。（前年度末は見直し後の数値。見直し前は252%。）

4. 契約業績

- 対面・非対面を融合した営業活動およびお客さまの幅広い保障ニーズに丁寧にお応えしたトータルな保障の提案、一時払商品の販売増加等により、新契約年換算保険料は前年同期から増加、保有契約年換算保険料も前年度末から増加。

■ 新契約年換算保険料※1

(億円)

	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
3社合算	945	1,052	+11.4%
うち第三分野	213	226	+6.2%
太陽生命	155	242	+56.3%
うち第三分野	99	101	+1.5%
大同生命	364	387	+6.3%
うち第三分野	94	105	+12.0%
TDF生命	424	422	△ 0.7%
うち第三分野	19	19	+2.6%

■ 保有契約年換算保険料※1

(億円)

	24/3末	24/9末	前年度末比
3社合算	16,336	16,663	+2.0%
うち第三分野	2,968	3,038	+2.4%
太陽生命	5,641	5,680	+0.7%
うち第三分野	1,369	1,394	+1.8%
大同生命	8,064	8,101	+0.5%
うち第三分野	1,522	1,549	+1.8%
TDF生命	2,630	2,882	+9.6%
うち第三分野	76	94	+23.7%

【参考】各社の契約業績指標※1（各社の経営目標にあわせて設定している経営指標）

(億円)

	太陽生命			大同生命			TDF生命		
	保障性年換算保険料※2			新契約高※3			年換算保険料		
新契約業績	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
	105	109	+3.8%	23,655	26,413	+11.7%	424	422	△ 0.7%
保有契約業績	24/3末	24/9末	前年度末比	24/3末	24/9末	前年度末比	24/3末	24/9末	前年度末比
	1,621	1,665	+2.7%	466,376	468,105	+0.4%	2,630	2,882	+9.6%

※1 契約業績指標は、個人保険・個人年金保険の合計。また、新契約業績には、転換による純増加を含む。

※2 太陽生命の経営指標で、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。

※3 大同生命の経営指標で、個人保険・個人年金保険の契約高にJタイプ、Tタイプ、介護リーフα、一時金型Mタイプ等の第三分野の保障金額を加算した指標。

5. 保険料等収入・基礎利益

- 保険料等収入は、円貨建て一時払商品の販売好調等により、前年同期から増加。
- 基礎利益は、利息配当金等収入の増加および為替ヘッジコストの減少等により、前年同期から増加。

■ 保険料等収入

(億円)

	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
3社合算	11,163	13,584	+21.7%
太陽生命	2,920	4,273	+46.3%
大同生命	4,138	4,133	△0.1%
TDF生命	4,104	5,178	+26.2%

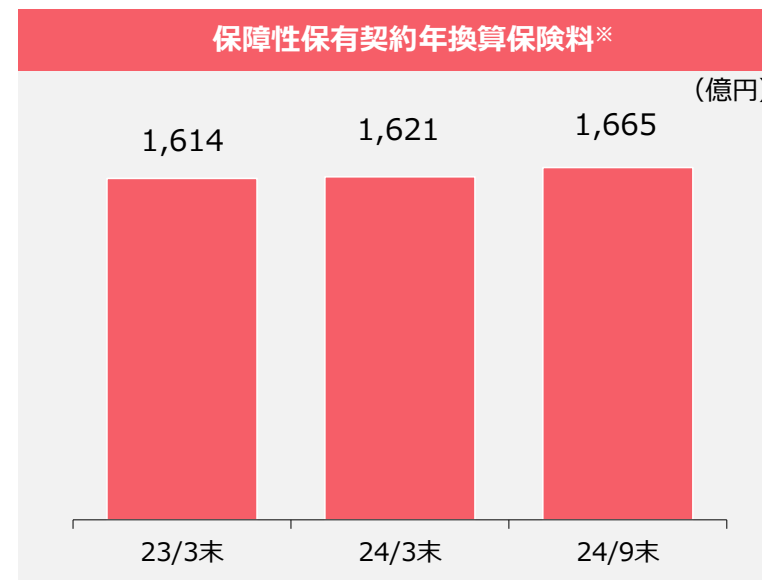
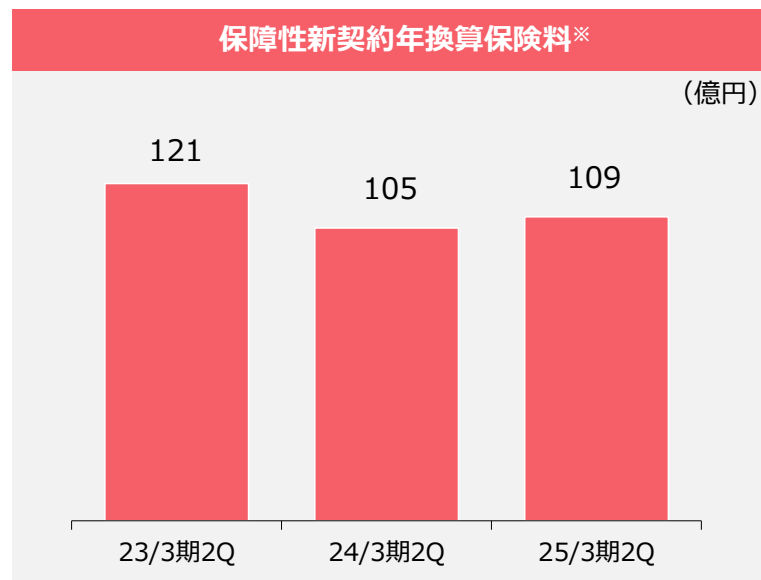
■ 基礎利益

(億円)

	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
3社合算	567	812	+43.0%
太陽生命	194	273	+40.8%
大同生命	375	531	+41.4%
TDF生命	△2	7	-

【参考】 太陽生命

- 保障新契約年換算保険料※は前年同期から増加、保障保有契約年換算保険料※も前年度末から増加。



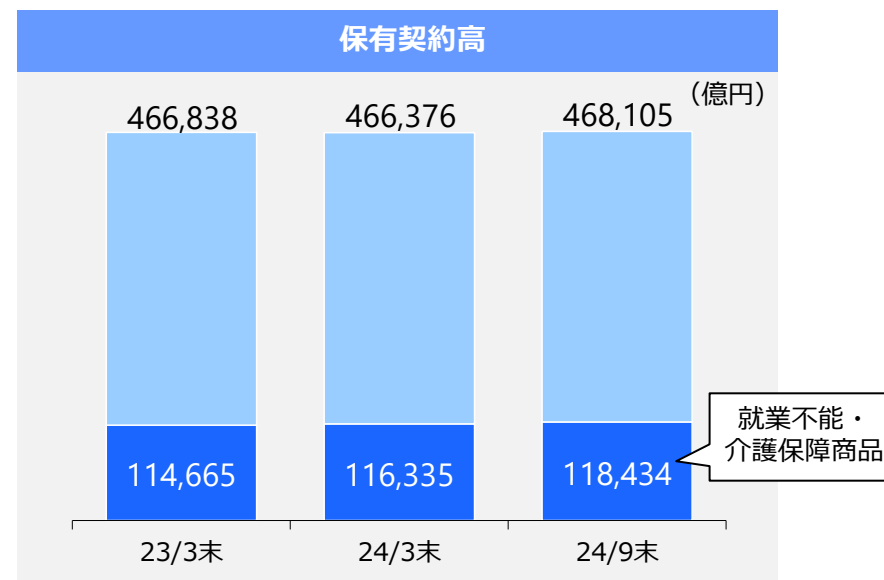
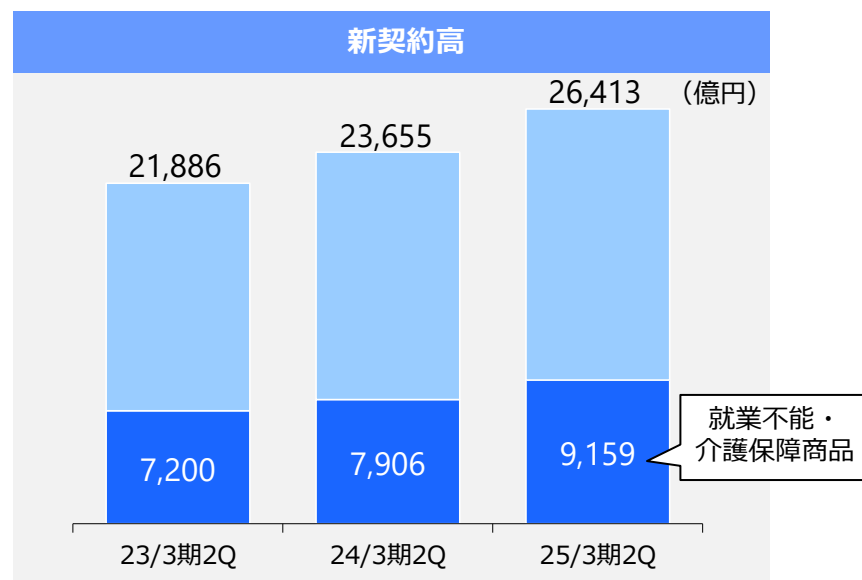
- 「保障新契約年換算保険料※」は、代理店チャネルの販売量増加等により前年同期から増加。
- 「保障保有契約年換算保険料※」は、前年同期比で解約・失効が減少したこと等により、前年度末から増加。

- ・ 2024年8月に、デジタル技術を活用しAI機能を搭載した新たな営業職員用携帯端末「T-AI-Face」を導入。
- ・ 「T-AI-Face」により、AIを活用したコンサルティングセールス、オンライン面談機能を活用した多様な提案手法を実現し、お客さま接点・マーケットの拡大を図ることで、さらなる業績の拡大を目指す。

※ 保障年換算保険料とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。同指標はE Vの伸展に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視している独自指標。

【参考】 大同生命

➤ 新契約高は前年同期から増加、保有契約高も前年度末から純増。



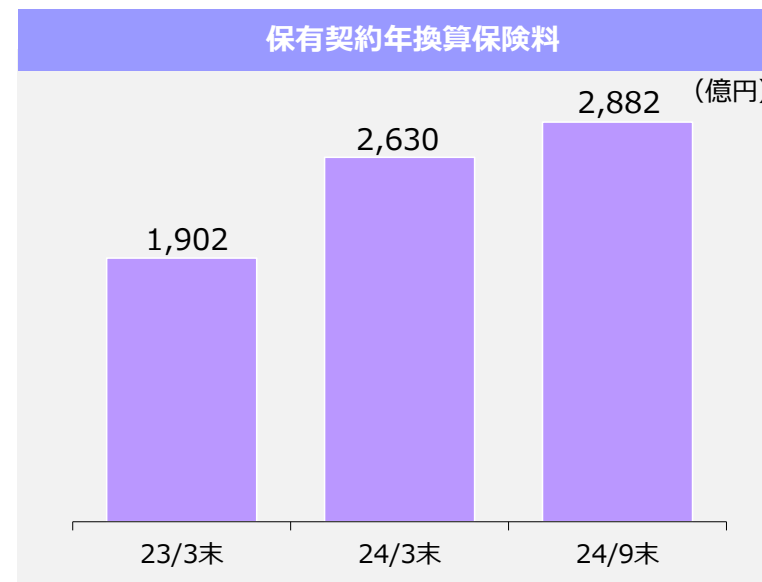
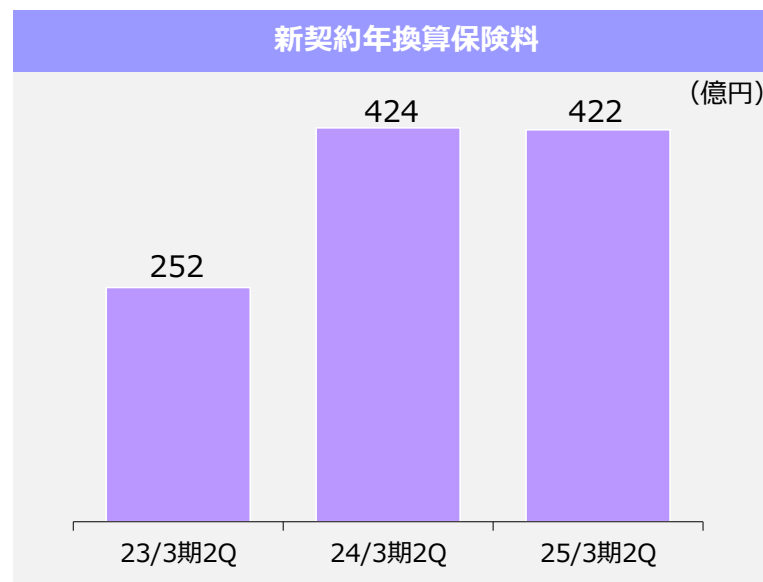
□ 「新契約高」は、死亡保障に就業不能・介護保障などを加えたトータルな保障の提案によりお客さまの幅広い保障ニーズにお応えしたことで、好調に推移。

- ・ 2023年11月に発売した「優良体割引特約」が好評。
- ・ 保険に加え、中小企業が抱える様々な課題解決を支援する「経営支援サービス」など保険以外でもお客さまとつながり、お客さま数の拡大を通じた持続的な成長を目指す。

※当ページ記載の「新契約高」「保有契約高」には、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフα」等の介護保険金額および「一時金型Mタイプ」の入院一時金額を基準として計上した金額を含む。

【参考】 T&Dフィナンシャル生命

- 新契約年換算保険料は前年同期並みの水準を確保、保有契約年換算保険料は前年度末から増加。



- 「新契約年換算保険料」は、一時払個人年金保険「ファイブテン・ワールド3（円貨プラン）」の販売が好調に推移したことにより、前年同期並みの水準を確保し、「保有契約年換算保険料」は、前年度末から増加。

- ・ 2024年10月に「ファイブテン・ワールド4」を発売。一時払個人年金保険「ファイブテン・ワールド3（円貨プラン）」に、将来の年金原資額をより大きくふやすことができる「年金重視コース」を新設。
- ・ 同商品に加え、「生涯プレミアムシリーズ」、「ハイブリッドシリーズ」の3つの商品カテゴリを主軸とし、差別化した商品・サービスの機動的な開発を進めるとともに、パートナーとなる代理店を拡大することで、さらなる業績の拡大を目指す。

6. クローズドブック事業（TDUC連結）

- 修正利益は、フォーティテュード社※の運用収益増加等により、前年同期から増加。

※TDUCの投資先である海外再保険関連会社

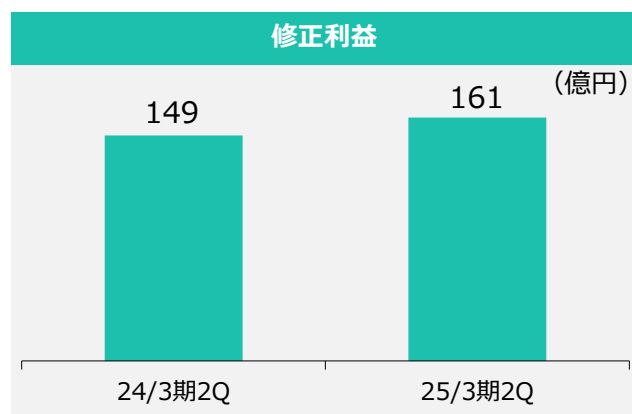
（億円）

	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
経常収益	3	13	+301.3%
経常費用	13	15	+16.5%
うち持分法による投資損失	2	-	-
経常利益（△は損失）	△9	△2	-
中間純利益（△は純損失）	△11	△2	-
修正利益	149	161	+8.5%

【参考】修正利益とは

- 当グループでは、親会社株主に帰属する当期純利益に対し、市場変動等により会計上生じる経済実態を伴わない損益や負債内部留保の超過繰入（戻入）額を調整した「修正利益」を、経営実態を表す指標としてK P Iに設定している。

※調整の対象は、フォーティテュード社における一時的な評価性損益等。



7. その他の事業ポートフォリオ

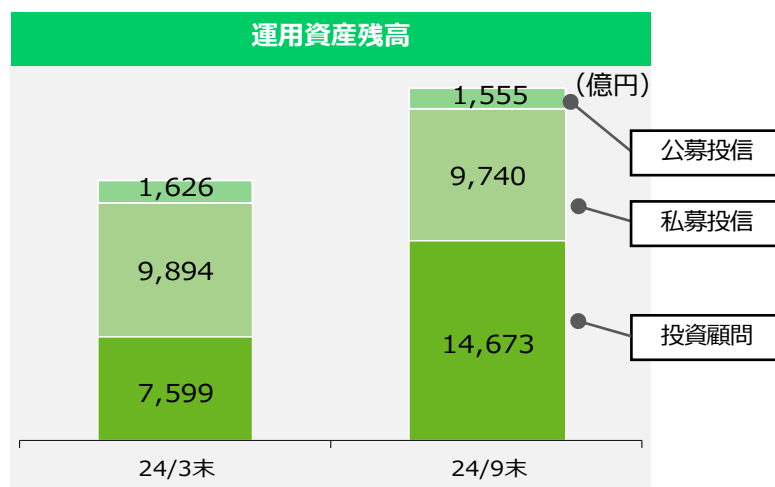
アセットマネジメント事業（TDAM）

- グループ資産運用の対象拡大により運用資産残高が増加し、営業収益、中間純利益ともに前年同期から増加。

(百万円)

	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
営業収益（実質ベース）※	1,430	1,589	+11.2%
経常利益	3	46	-
中間純利益	6	31	+407.0%

※販売会社や運用委託先への支払いを控除した実質的な営業収入

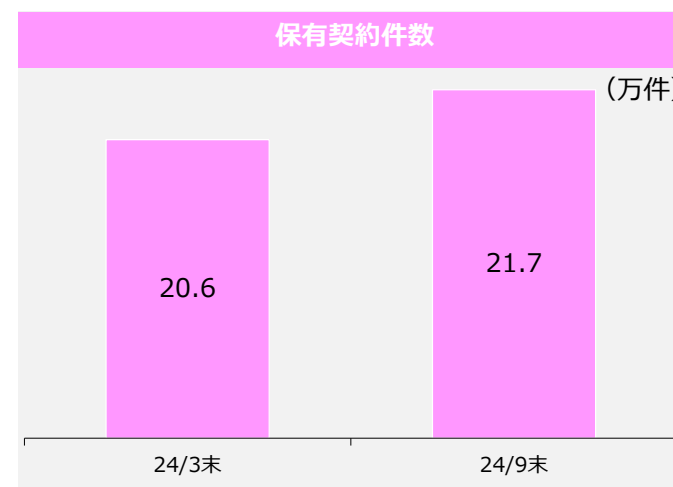


損害保険【ペット保険】事業（P&F）

- 新たなチャネル「PayPayほけん」での商品販売により保有契約件数が増加し、経常収益は前年同期より増加。一方、支払保険金の増加により経常利益・中間純利益は前年同期から減少。

(百万円)

	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
経常収益	5,474	5,616	+2.6%
経常利益	862	374	△ 56.5%
中間純利益	630	269	△ 57.3%



8. 業績予想・株主還元

■ 25年3月期 通期業績予想

(億円)

	24/3期実績	25/3期通期予想
保険料等収入(3社合算)	24,641	20,500
太陽生命	7,028	5,700
大同生命	8,437	8,500
TDF生命	9,175	6,300
経常利益(連結)	1,598	1,800
太陽生命	553	780
大同生命	1,016	1,030
TDF生命	73	40
当期純利益(連結)	987	1,040
太陽生命	389	430
大同生命	609	620
TDF生命	48	20
グループ修正利益	1,035	1,170

■ 株主還元

	24/3期実績	25/3期
1株当たり年間配当金	70.0円	(予想) 80.0円※
(うち中間配当)	35.0円	(実績) 40.0円

※10期連続の増配の予定

※ 2024年5月15日に公表した通期業績予想・配当予想から修正ありません。

※ 当ページに記載の各予想値は今後様々な要因によって実際の数値と大きく異なることがあります。

【参考】 損益関係①

■ グループ連結

(億円)

	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
経常収益	15,000	16,589	+10.6%
うち保険料等収入	11,214	13,638	+21.6%
うち資産運用収益	3,408	2,461	△ 27.8%
経常費用	14,292	15,551	+8.8%
うち保険金等支払金	10,108	11,956	+18.3%
うち責任準備金等繰入額	988	760	△ 23.1%
うち資産運用費用	1,563	1,102	△ 29.5%
経常利益	707	1,038	+46.7%
特別損益	6	△ 17	-
契約者配当準備金繰入額	113	116	+1.9%
税金等調整前中間純利益	600	905	+50.8%
法人税等合計	169	246	+45.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	430	654	+52.0%
グループ修正利益	560	818	+46.0%

①

②

③

④

⑤

■ 含み損益（生保一般勘定）

(億円)

	3 社合算			太陽生命		
	24/3末	24/9末	前年度末比	24/3末	24/9末	前年度末比
有価証券の差損益	2,774	△ 230	-	2,783	1,689	△ 39.3%
うち公社債	△ 4,146	△ 6,169	-	△ 840	△ 1,606	-
うち株式	4,329	3,792	△ 12.4%	2,655	2,306	△ 13.1%
うち外国証券	1,908	1,679	△ 12.0%	677	741	+9.5%
うち金銭の信託	△ 879	△ 831	-	-	-	-
土地等の差損益	1,648	1,668	+1.2%	710	727	+2.4%

	大同生命			TDF生命		
	24/3末	24/9末	前年度末比	24/3末	24/9末	前年度末比
有価証券の差損益	738	△ 1,159	-	△ 747	△ 761	-
うち公社債	△ 3,457	△ 4,651	-	151	88	△ 41.5%
うち株式	1,674	1,485	△ 11.2%	-	-	-
うち外国証券	1,234	941	△ 23.8%	△ 3	△ 3	-
うち金銭の信託	-	-	-	△ 879	△ 831	-
土地等の差損益	938	941	+0.3%	-	-	-

※有価証券の差損益は、有価証券のうち市場価格のない株式等および組合出資金等は除く。
 ※土地等の差損益は、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）
 をもとに算出。

<主な増減要因>

- ① 円貨建て一時払商品の販売増加等
- ② 為替変動に伴う為替差益の減少等
- ③ 外貨建て一時払商品および貯蓄性商品の解約増加等
- ④ 為替変動に伴う外貨建て保険の責任準備金減少等
- ⑤ 為替ヘッジコストの減少等

【参考】 損益関係②

■ 国内生命保険事業

(億円)

	太陽生命			大同生命			TDF生命		
	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比	24/3期2Q	25/3期2Q	前年同期比
経常収益	4,606	5,303	+15.1%	5,924	5,875	△ 0.8%	4,832	5,256	+8.8%
うち保険料等収入	2,920	4,273	+46.3%	4,138	4,133	△ 0.1%	4,104	5,178	+26.2%
うち資産運用収益	1,094	969	△ 11.5%	1,627	1,511	△ 7.1%	705	42	△ 94.0%
経常費用	4,364	5,019	+15.0%	5,499	5,147	△ 6.4%	4,769	5,217	+9.4%
うち保険金等支払金	3,278	3,871	+18.1%	2,816	3,042	+8.0%	3,984	5,010	+25.7%
うち責任準備金等繰入額	0	66	-	896	681	△ 23.9%	628	13	△ 97.8%
うち資産運用費用	514	467	△ 9.1%	1,049	649	△ 38.1%	2	40	-
経常利益	241	284	+17.8%	424	728	+71.3%	62	38	△ 37.7%
特別損益	27	12	△ 53.1%	△ 17	△ 18	-	△ 3	△ 3	-
契約者配当準備金繰入額	60	62	+2.7%	53	53	+0.9%	0	0	△ 8.8%
税引前中間純利益	208	234	+13.0%	354	656	+85.0%	59	35	△ 39.5%
法人税等合計	50	51	+0.8%	100	188	+87.7%	18	8	△ 53.4%
中間純利益	157	183	+16.9%	254	467	+83.9%	41	27	△ 33.4%
基礎利益(△は損失)	194	273	+40.8%	375	531	+41.4%	△ 2	7	-
修正利益※	157	183	+16.9%	254	467	+83.9%	11	28	+153.9%
順ざや(△は逆ざや)	125	187	+49.9%	70	231	+226.6%	△ 7	△ 7	-

※TDF生命の数値は、中間純利益から市場価格調整（MVA）に関連する評価性の損益を調整して算出。

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

Try & Discover
20th
ANNIVERSARY

T&D T&Dホールディングス

 太陽生命

 大同生命

 T&Dフィナンシャル生命

 T&Dアセットマネジメント

 ペット&ファミリー
損害保険株式会社

 T&D ユナイテッド キャピタル

 All Right

T&D情報システム

【お問合せ先】

株式会社 T & D ホールディングス	広報課	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課	TEL 03-3272-6206
T & D フィナンシャル生命保険株式会社	広報課	TEL 03-6745-6808